仕　様

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

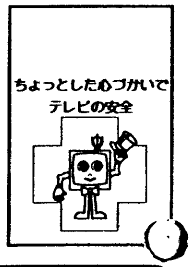
形名	C25-ST7
ブラウン管	25形ティントブラウン管
画面寸法	幅47.8×高さ36.3／対角59.0（cm） テレビの形(25形等)は画面寸法を表わすものではなく、ブラウン管の外形対角寸法を基準とした大きさの目安です。
音声実用最大出力	10W(総合)
スピーカー	5cm×9cm……2個
電源	AC100V 50/60Hz共用
消費電力	95W（待機時2.2W）
受信チャンネル	VHF 1ch〜12ch UHF13ch〜62ch CATV(C13〜C35)
端子	ビデオ1音声入力端子(右)(左)…… 1個　モニター音声出力端子(右)(左)…… 1個 ビデオ1映像入力端子 ………… 1個　モニター映像出力端子 ………… 1個 ビデオ2音声入力端子(右)(左)…… 1個　AV-BUSⅡ端子 ………………… 1個 ビデオ2映像入力端子 ………… 1個　ヘッドホン端子 ……………… 1個
外形寸法	幅59.5×高さ53.5×奥行49.0（cm）
質量（重量）	26.5kg
付属品	リモコン送信機 ………… 1個　単3形乾電池 ………… 2個 アンテナアダプター ……… 1個　R6P（またはSUM-3）

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

●カラーテレビの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

このようなことはありませんか	●電源コードやプラグが異常に熱い ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない ●映像が乱れたり、色がきれいに出ない ●その他の異常・故障がある	➡	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。



●購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名　　　　　　電話（　　）

購入年月日　　　年　　月　　日

●万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、右の内容をお知らせください。

形名＝(テレビ本体)　C25-ST7
　　　(リモコン)　C-U2
症状＝できるだけ詳しく
道順＝付近の目印も

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2－15－12
電話（03）3502-2111

QR01822
Printed in Japan KG-G(H)

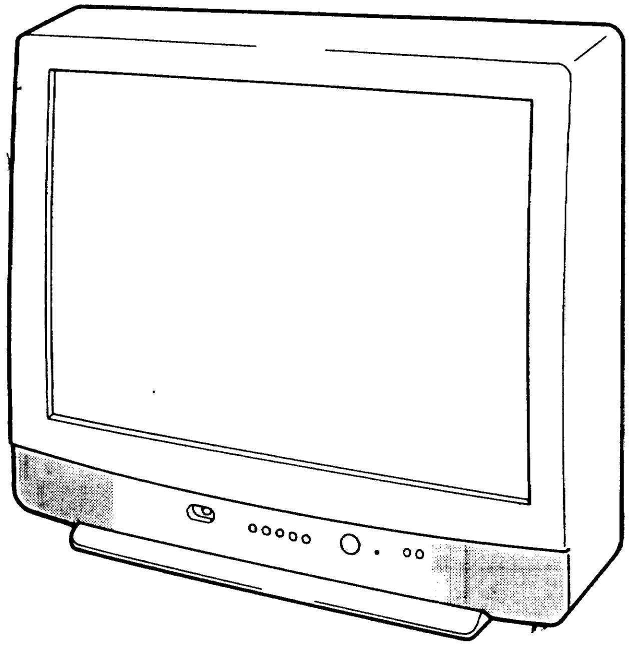
HITACHI

日立カラーテレビ

形名

C25-ST7

取扱説明書



もくじ

ページ
お使いになる前の準備 ……………… 2
各部の名称 ……………… 3
テレビ放送を見るには ……………… 4
CH／セレクトボタンの使いかた ……… 5
ビデオを見るには ……………… 6
本体で操作するには ……………… 6
音声内容の選びかた ……………… 7
映像・音声設定をするには ……………… 8
音を一時的に消したいとき ……………… 9
チャンネル番号などを知りたいとき ……… 9
自動的にテレビの電源を切りたいとき …… 10
お好みに合わせて設定を変えたいとき …… 11
他の機器との接続使用 …… 12
●ビデオとの接続 ……………… 12
●ビデオディスクプレーヤーとの接続 ……… 14
●オーディオ機器との接続 ……………… 14
アンテナの接続 ……………… 15
受信設定について（チャンネル合わせなど）… 17
転倒防止について ……………… 18
保証とアフターサービスについて ……… 19
故障かな？と思ったら …… 19
仕　様 ……………… 裏表紙

このたびは日立カラーテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。
別冊の「使用上のご注意」とこの「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保管してください。

■安全上のご注意について

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

△記号は警告（注意を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お使いになる前の準備

1 アンテナをつなぐ 15 ～ 16

⚠注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

2 お手持ちの機器をつなぐ

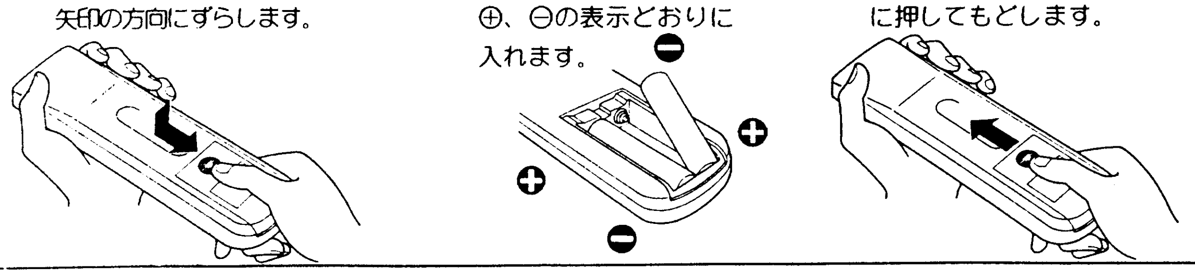
豊富な端子群をフルにご活用ください。 12 ～ 14

3 リモコンに乾電池を入れる

①電池ぶたをはずす
電池ぶたを押しながら、矢印の方向にずらします。

②乾電池を入れる
付属の単３形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

③電池ぶたを閉める
電池ぶたを矢印の方向に押してもどします。



4 差し込みプラグをコンセントに差し込む

⚠警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

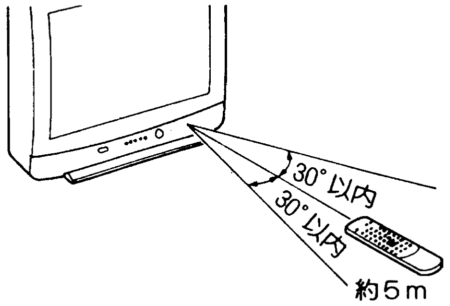
⚠注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

お使いになる前の準備（つづき）

リモコンの取扱い

●リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約５メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。



⚠注意 乾電池の使用上のご注意

● 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

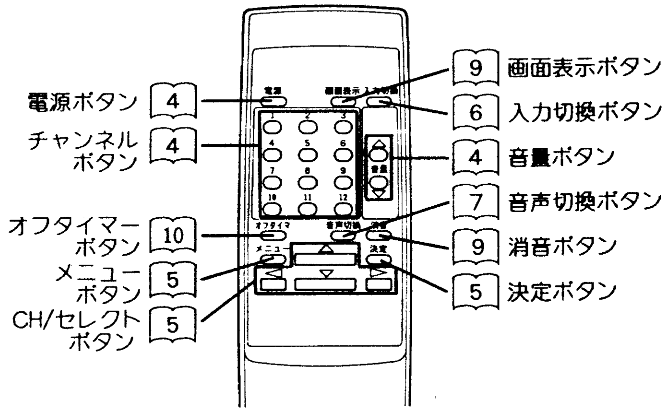
ご注意 使用上のご注意

● リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
● リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
● 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取出しておいてください。
● リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。

各部の名称

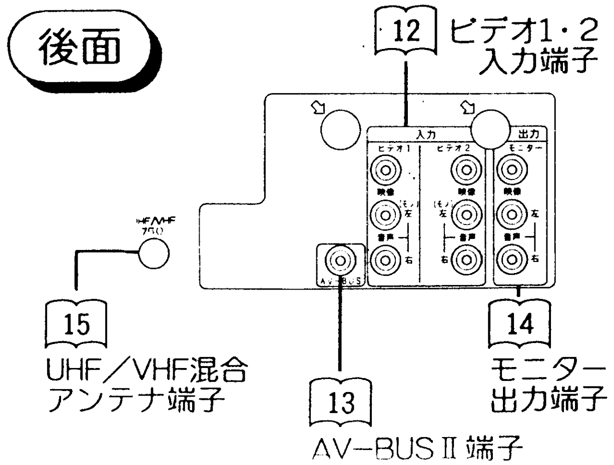
□内の数字は、参照ページです。

●リモコン



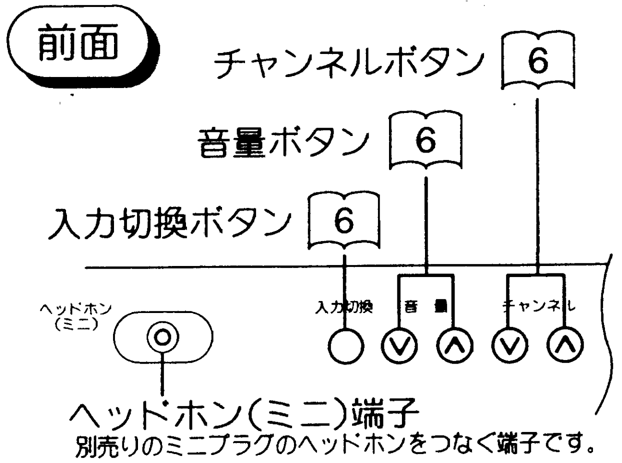
●テレビ本体

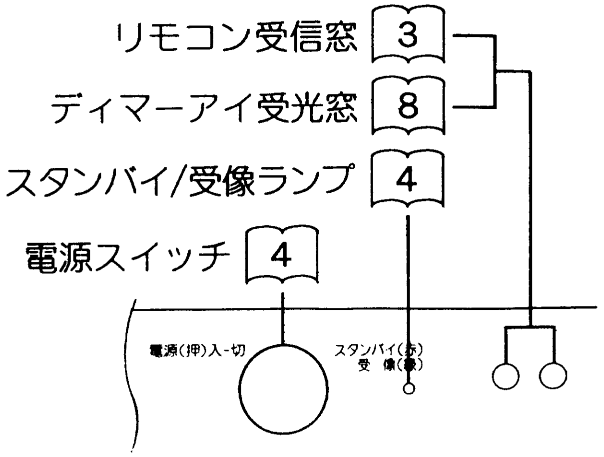
後面



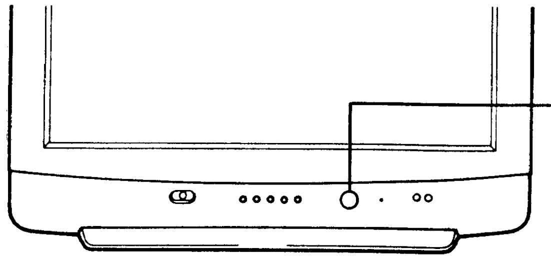
●テレビ本体

前面

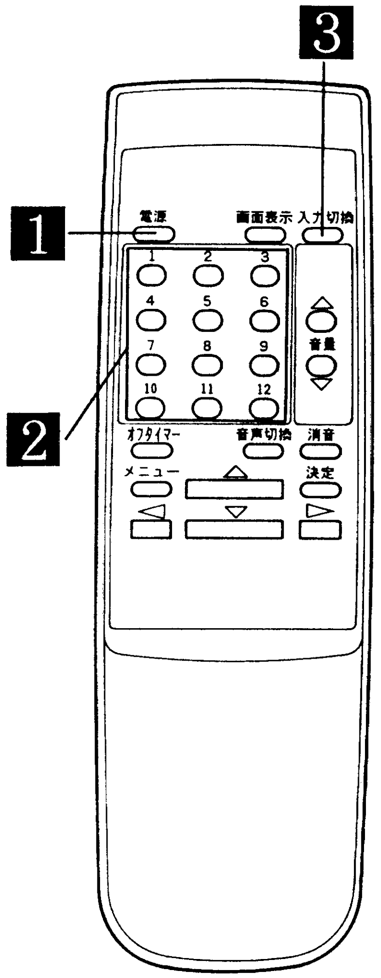




テレビ放送を見るには

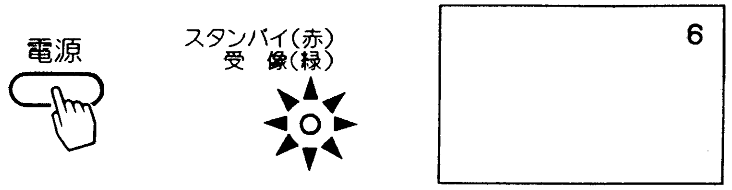


準　備
本体のスタンバイ／受像ランプが消えていると、リモコンでは電源が入りません。
まず本体の電源スイッチを押してください。
このときは、**2** の操作から始めてください。



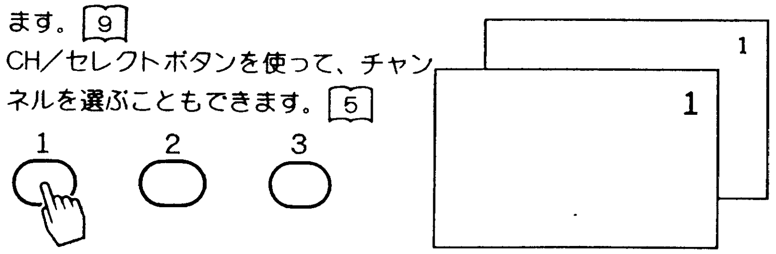
1 電源を入れる

本体のスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現われます。電源を切るときは、もう一度押します。



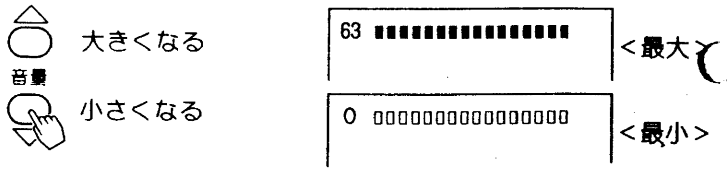
2 チャンネルを選ぶ(1～12)

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
数秒後、表示が小さくなり、画面に残ります。表示を消すこともできます。 9
CH／セレクトボタンを使って、チャンネルを選ぶこともできます。 5



3 音量を選ぶ

音量の大きさが数字と ■■■□□□ で画面に表示されます。



メモ リモコンの操作は

スタンバイ／受像ランプが点灯しているときのみ、リモコンの操作は可能です。
電源を切るときリモコンの電源ボタンを押して切ると、電源の「入・切」もリモコンでできます。

メモ 工場出荷時のチャンネル設定

本機は工場出荷時にVHF1～12チャンネルの12局を設定しています。チャンネルの設定は変更することもできます。 17

メモ 13～20のチャンネルを選ぶには

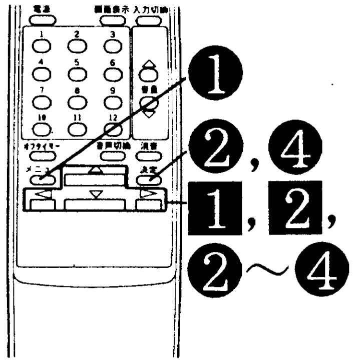
本機は1～12のチャンネルボタンの他に13～20のチャンネルを設定することができます。このときは、受信設定で13P～20P（ポジション）にお好みの放送を設定後、チャンネルスキップを“しない”に設定してください。（ 17 ～ 18 ）
CH／セレクトボタンまたは、本体のチャンネル▲／▼ボタンにより13～20のチャンネルを選局することができます。

(ご注意) 動作中に停電になったときのご注意

テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときは本体の電源スイッチを切っておいてください。

CH／セレクトボタンの使いかた

本機のリモコンには、矢印（▲▼◀▶）マークのついたCH／セレクトボタンがついています。このボタンを使って、画面の表示を見ながら、手軽にチャンネルが選べます。（画面選局）
また、メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、CH／セレクトボタン(◀▲▼▶)を使って、ほとんどの機能の設定ができます。

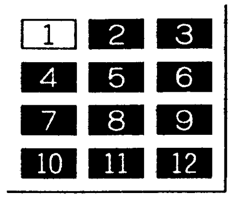


画面選局のしかた

1 テレビを見ているときに◀▲▼▶を押す

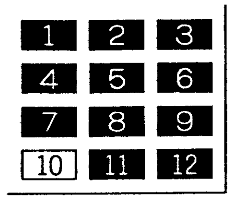
画面にチャンネルの一覧表示が出ます。
見ているチャンネルは白色で表示されます。

● 「空きチャンネルの飛越し選局」 18 を行えば、放送されているチャンネルだけが表示され、便利にお使いいただけます。



2 ◀▲▼▶で見たいチャンネルを選ぶ

▲▼で上下、◀ ▶で左右のチャンネルを選ぶことができます。
選んだチャンネルに画面が変わります。
しばらく◀▲▼▶を操作しないと、チャンネルの一覧表示は消えます。

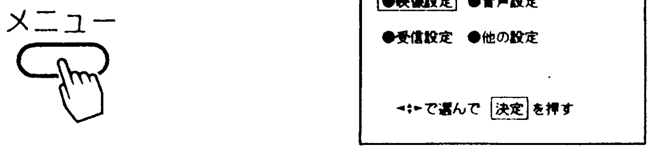


メモ 画面選局とは別の、チャンネルを順次送るチャンネルアップダウン選局を選ぶこともできます。 11

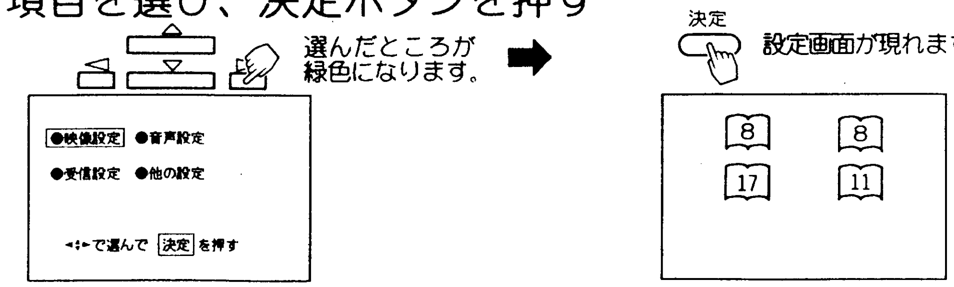
機能設定のしかた

❶ メニューボタンを押す

《メニュー》画面が現われます。



❷ ◀▲▼▶で項目を選び、決定ボタンを押す

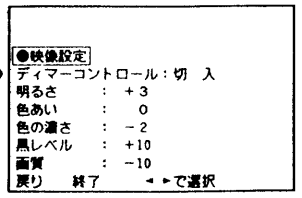


（画面表示を消すときはメニューボタンを押します。）　各項目の詳しい説明は、図に示すページにあります。

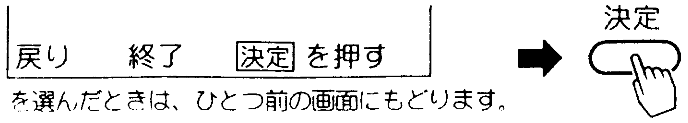
❸ ◀▲▼▶で設定する

▲▼で項目を選んで、◀ ▶で選択、または設定します。

〈●映像設定を選んだときの設定画面表示の例〉



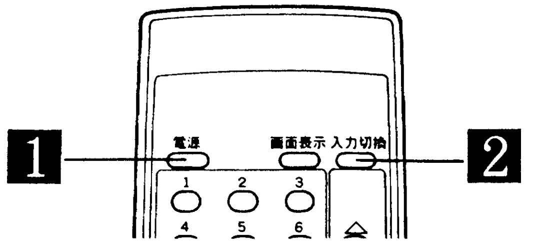
❹ 設定が終わったら、◀▲▼▶で「終了」を選び、決定ボタンを押す



「戻り」を選んだときは、ひとつ前の画面にもどります。

画面表示が消えて、設定が完了します。
メニューボタンを２回押しても、画面表示が消えます

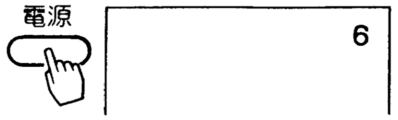
ビデオを見るには



準　備
お手持ちのビデオと本機の入出力端子を接続します。
接続についての詳しい説明をご参照ください。[12]
日立製AV-BUS端子付ビデオと組合わせると、操作が簡単になります。[13]

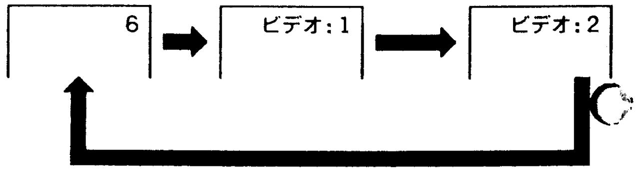
1 電源を入れる

前に見ていたチャンネルが現われます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ：１などのビデオ画面になります。）

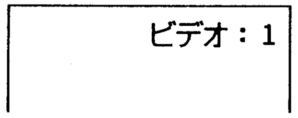


2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切換わります。
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。



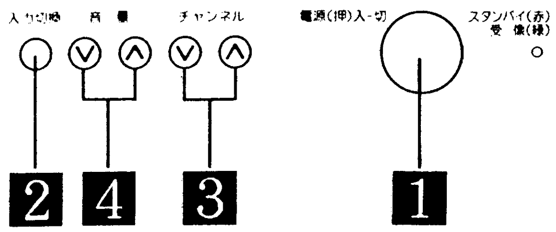
3 ビデオを再生する



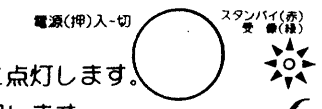
メモ　ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

本体で操作するには

お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。



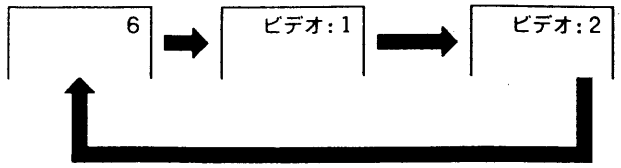
1 電源を入れる



スタンバイ／受像ランプが緑に点灯します。
電源を切るときは、もう一度押します。
スタンバイ／受像ランプが赤く点灯しているとき（スタンバイ状態）に電源スイッチを押すと、ランプが消えますので、もう一度電源スイッチを押してください。

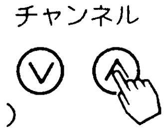
2 入力切換で「テレビ」を選ぶ

押すごとに、図のように切換わります。



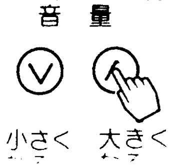
3 チャンネルを選ぶ

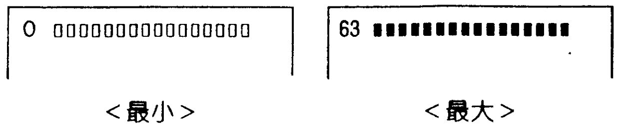
∧押す：１→２…20の順に変わります。（工場出荷時は１～12）
∨押す：20…３→２→１の順に変わります。（工場出荷時は12～１）



4 音量を調節する

音量の大きさが数字と ■■■□□□ で画面に表示されます。





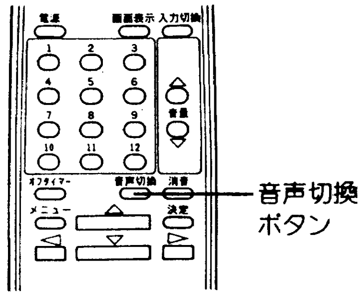
＜最小＞　　＜最大＞

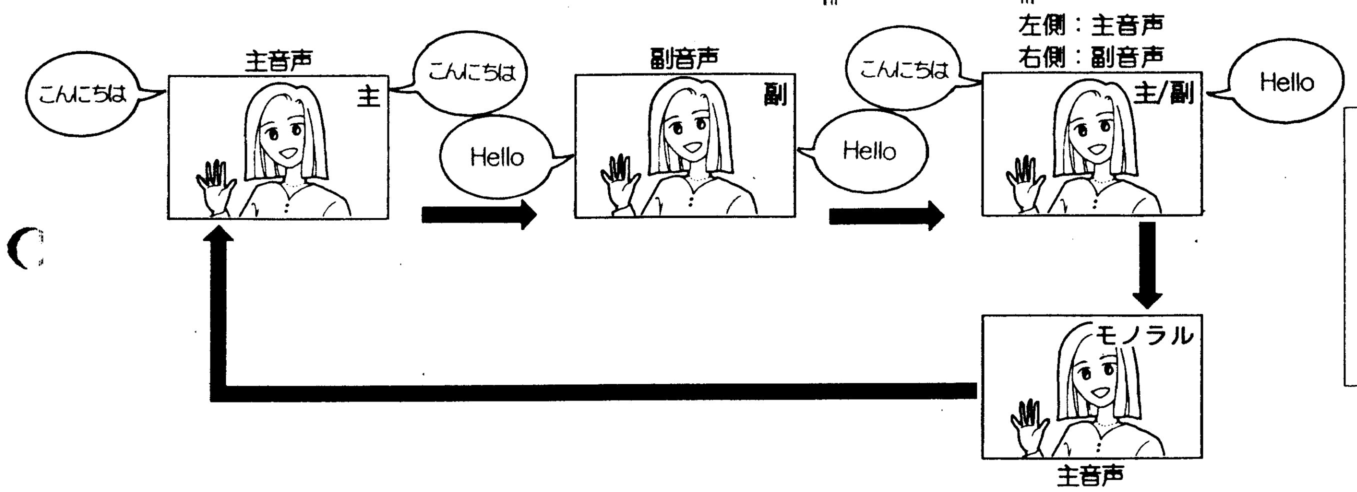
音声内容の選びかた

二重音声放送およびステレオ放送のときには、２ヵ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切換わります。

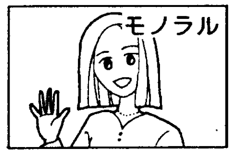




ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。
（「主」「副」「主／副」のいずれかに設定しているとき）

- テレビ放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声が聞きづらいときは、「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。



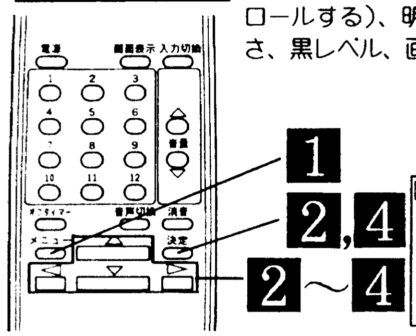
メモ　主音声と副音声について

- 洋画やニュースなどの２ヵ国語放送のとき、日本語に吹替えて送られてくる音声を「主音声」、原語のまま送られてくる音声を「副音声」といいます。
- 放送によっては「主音声」を原語で、「副音声」を日本語で送る場合があります。

映像・音声設定をするには

映像設定

お好みに合わせて、ディマーコントロール(周囲光に合わせ、自動的にコントロールする)、明るさ、色あい、色の濃さ、黒レベル、画質の調節ができます。



音声設定

お好みに応じてステレオミュート(コマーシャル音などを小さくする)、高音、低音の調節ができます。

1 メニューボタンを押す

《メニュー》画面が現われます。

●映像設定 ●音声設定
●受信設定 ●他の設定
◄↕►で選んで 決定 を押す

●映像設定 ●音声設定
●受信設定 ●他の設定
◄↕►で選んで 決定 を押す

2 ◄↕►で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

●映像設定
ディマーコントロール：切 入
明るさ　：＋3
色あい　：　0
色の濃さ：－2
黒レベル：＋10
画質　　：－10
戻り　終了　◄ ►で選択

2 ◄↕►で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

●音声設定
ステレオミュート：切 入
高音　：＋5
低音　：＋10
戻り　終了　◄ ►で選択

3 ↕で調節したい項目を選び、◄ ►で選択、調節する

▲映像調節 ▼項目	◄	►	調節のポイント
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
画質	やわらかな画質になる	くっきりした画質になる	ふだんは中央で

●映像設定
ディマーコントロール：切 入
明るさ　：＋3
色あい　：　0
色の濃さ：－2
黒レベル：＋10
画質　　：－10
戻り　終了　◄ ►で調節

▲音声調節 ▼項目	◄	►	調節のポイント
ステレオミュート	切◄—►入		「入」にすると、コマーシャル音(ステレオ放送)などを小さくできます。
高音	高音がおさえられる	高音が強調される	−31～+31までの調節ができます。お好みに合わせ調節してください。一度調節すると、そのまま記憶されます。
低音	低音がおさえられる	低音が強調される	

4 ◄↕►で「終了」を選び、決定ボタンを押す

●調節後は、チャンネル切換や電源を切っても記憶されます。

メモ 映像設定の効果

ディマーコントロール：入
暗いお部屋でご覧になる場合など、周囲の明るさに合わせ、自動的に目が疲れないように映像の明るさを調節します。

メモ 音声設定の効果

ステレオミュート：入
ドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることができます。（ただし、ステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。）

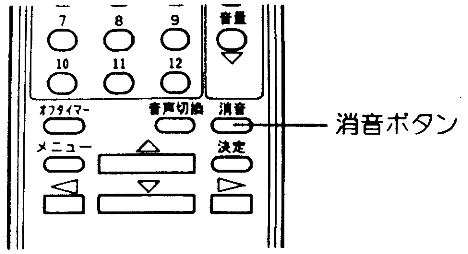
ご注意 ディマーコントロール「入」のときのご注意

●ディマーコントロールが「入」のときには、映像設定を選ぶと右図のような表示が出ます。このときには、明るさの調節はできません。
●明るさを調節するときは「切」

●映像設定
ディマーコントロール：切 入
明るさ　：－－
色あい　：　0
色の濃さ：－2
黒レベル：＋10
画質　　：－10
戻り　終了　◄ ►で選択

音を一時的に消したいとき

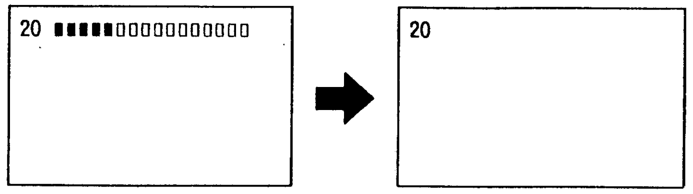
電話がかかってきたときや、来客のときなど便利です。



消音ボタンを押す

音が消えて、画面に図のような表示が出ます。
もう一度押すともとの音量にもどります。

消音



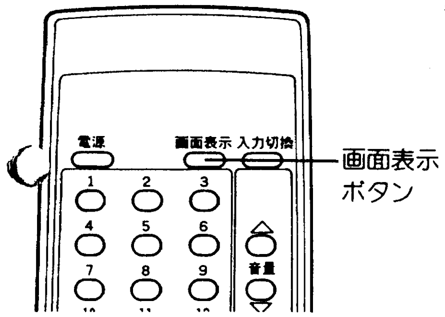
押した瞬間
（表示の色がマゼンタに変わります。）

3秒後

メモ 消音時に音量調節をしたいとき

消音にしたままでも音量▼ボタンを押すことにより、音量を下げることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量▲ボタンを押してください。

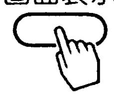
チャンネル番号などを知りたいとき

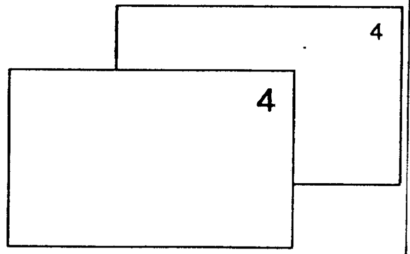


画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示され、しばらくすると小さくなります。
表示を消すときは、もう一度押します。

画面表示



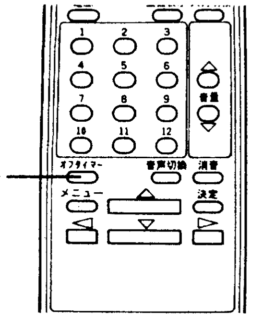


画面表示

●テレビ放送のとき	●ビデオのとき
4　モノラル放送時（緑）	ビデオ：1 −ビデオ入力番号
4 モノラル　モノラル指定時（緑）	
4 主　二重音声放送時（赤）例）主音声	
4　ステレオ放送時（黄）	

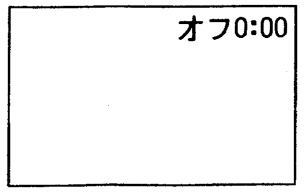
自動的にテレビの電源を切りたいとき

お休み時や、お出かけ時の消し忘れ防止などにご使用いただけます。

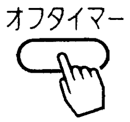


オフタイマーボタン

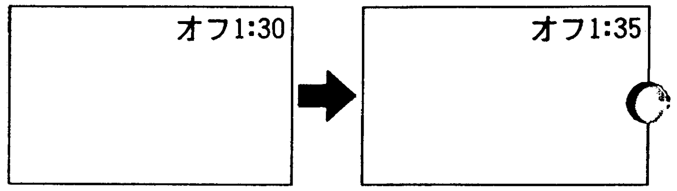
1 オフタイマーボタンを押す



2 オフタイマーボタンをもう一度押す



ボタンを押し続けると、10分間隔で時間表示が変わります。
ボタンをチョン、チョンと押すと、1分間隔で時間表示が変わります。
約3秒後に表示が消え、タイマー動作がスタートします。



3 電源が切れる

設定時間が経過すると電源が切れます。

オフタイマーを確認、解除するには

確　　認	解　　除
オフタイマーボタンを押す ⬇ 画面右上に残り時間が表示されます。(約3秒間) ●残り時間表示中に、もう一度ボタンを押すと、オフタイマーは解除されます。	①オフタイマーボタンを押す ⬇ 画面右上に残り時間が表示されます。 ②残り時間表示中(約3秒)にもう一度同じボタンを押します。 ⬇ オフタイマーは解除されます。

(ご注意) オフタイマー使用時のご注意

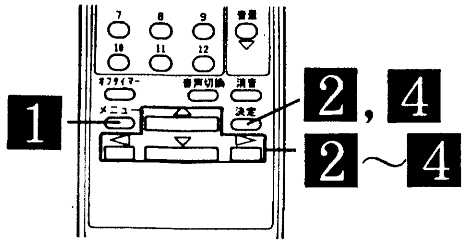
- ●オフタイマー設定中、ボタンの操作は画面表示のある間（約3秒）に行ってください。途中で画面表示が消えた場合は、最初から行ってください。
- ●電源を切るとオフタイマーは解除されます。
- ●オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
- ●オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

メモ オフタイマーの設定範囲について

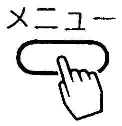
オフタイマーの設定時間の範囲は、2時間(1分間隔)です。

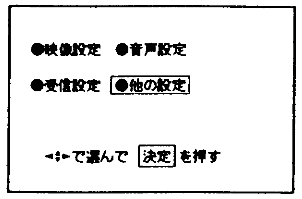
お好みに合わせて設定を変えたいとき

選局モード(CH／セレクトボタンのボタン機能を切換える)などの設定ができます。
お好みに合わせて調節してください。

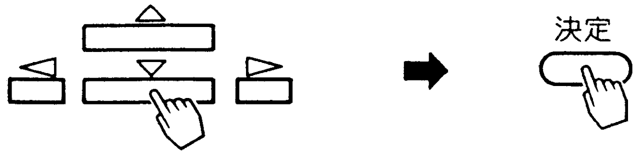


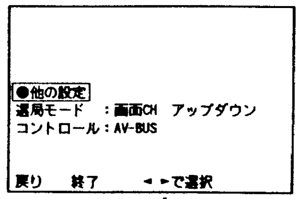
1 メニューボタンを押す





2 ◄⬍►で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

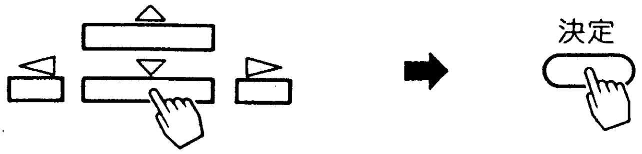




3 ⬍ で設定したい機能を選び、◄ ►で選択する

⬍ 設定項目	◄　　　►	設定のポイント
選局モード	画面CH ←→ アップダウン	工場出荷時は「画面CH」になっています。アップダウン選局をしたいときは「アップダウン」を選びます。「画面CH」「アップダウン」共に1～20ポジションの選局が可能です。(工場出荷時は1～12ポジション)
コントロール	AV-BUS ←→ AVコントロール ◄(左)を押すと、AVコントロールの表示が出ます。	日立のビデオと接続するときに合わせます。 13

4 ◄⬍►で「終了」を選び、決定ボタンを押す



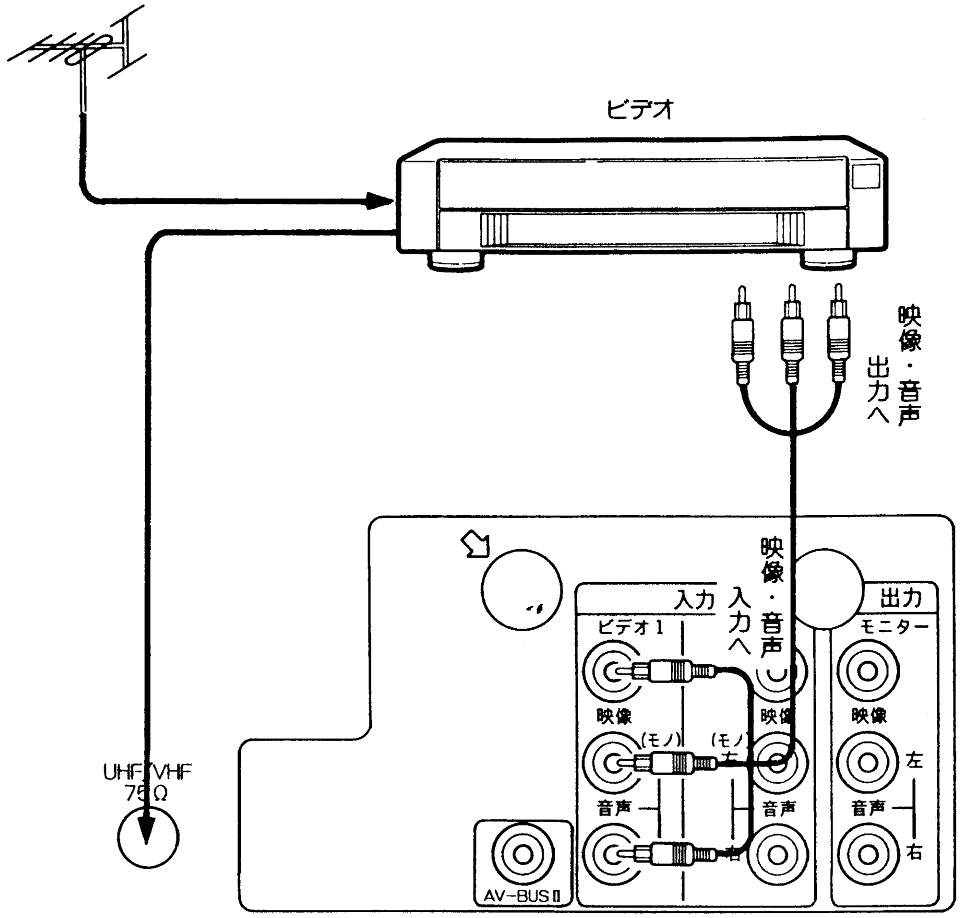
メモ 設定を変えたときの効果

選局モード
「画面CH」を選ぶとCH／セレクトボタンで画面選局ができます。5
「アップダウン」を選ぶとCH／セレクトボタンの⬍上下でチャンネルアップダウン選局ができます。

コントロール
後面のAV-BUSⅡ端子の信号方式が切換わります。
日立のAVコントロール、AV-BUS端子付ビデオをお使いのときに、「ビデオを再生するだけでビデオの映像が出る」といった自動機能を確実に働かせるための切換えです。
AV-BUS：AV-BUS端子付ビデオのとき
AVコントロール：AVコントロール端子付ビデオのとき

他の機器との接続使用

ビデオとの接続

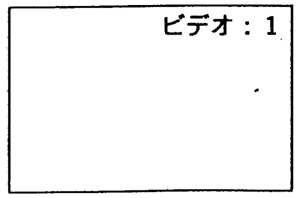


使いかた

1 入力切換ボタンで「ビデオ：１」にする

入力切換

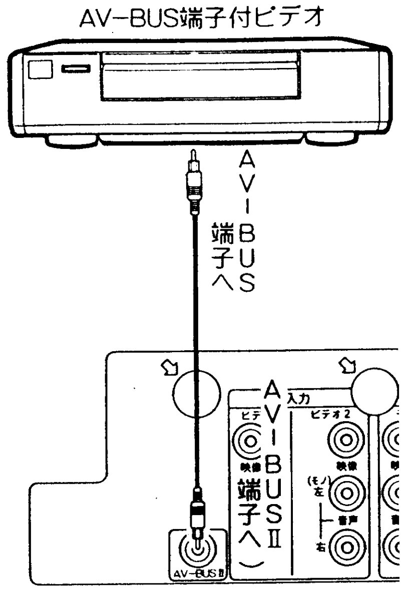
● 画面に「ビデオ：１」の表示が出ます。



2 ビデオを操作する

日立のAV-BUS端子付ビデオとの接続

日立のAV-BUS端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの電源の「入・切」と入力を切換えることができます。[12] の接続をした後、下図の接続をします。



○ コントロールモードの設定を「AV-BUS」に合わせます。[11]

使いかた

1 ビデオを操作する

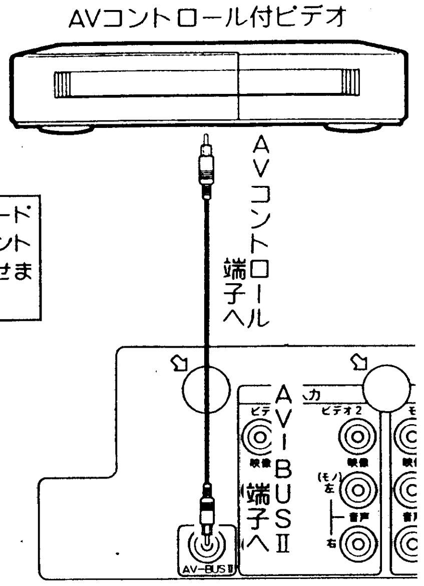
[▶] 再生すると ……	テレビの電源が入り、入力切換が「ビデオ：１」になり、ビデオの再生画面になります。
ビデオの電源を切ると ……	テレビの入力切換が「テレビ」にもどって、テレビの受信画面になります。
ビデオのオフタイマー機能を使って、電源を切ると …	テレビ電源も切れます。

メモ AV-BUS接続時のお願い

- ●テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- ●テレビの電源スイッチが「切」の場合、AV-BUSⅡは動作しません。
- ●AV-BUSⅡは「ビデオ：１」の入力で動作します。

日立のAVコントロール端子付ビデオとの接続

日立のAVコントロール端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの入力を切換えることができます。[12] の接続をした後、下図の接続をします。



○ コントロールモードの設定を「AVコントロール」に合わせます。[11]

使いかた

1 ビデオを操作する

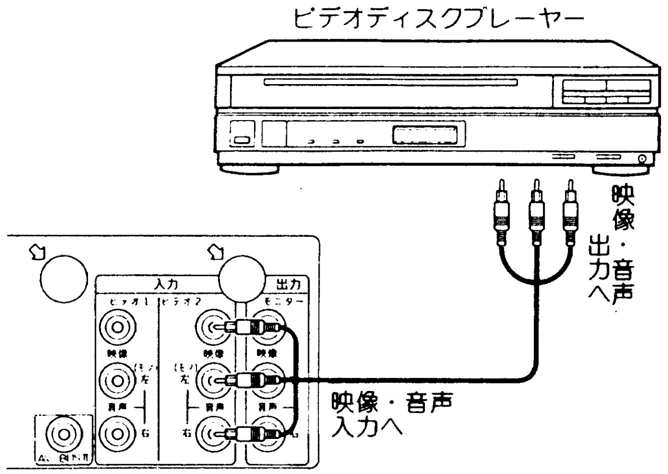
[▶] 再生すると ……	テレビの入力切換が「ビデオ：１」になり、ビデオの再生画面になります。
[■] 停止すると ……	テレビの入力切換が「テレビ」にもどって、テレビの受信画面になります。
ビデオ／テレビ切換ボタンで「ビデオ」にすると …	テレビの入力切換が「ビデオ：１」になります。
ビデオ／テレビ切換ボタンで「テレビ」にすると …	テレビの入力切換が「テレビ」になります。
電源を切ると ……	テレビの入力切換が「テレビ」になります。

メモ AVコントロール接続時のお願い

- ●テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- ●AVコントロールは「ビデオ：１」の入力で動作します。

他の機器との接続使用（つづき）

ビデオディスクプレーヤーとの接続



使いかた

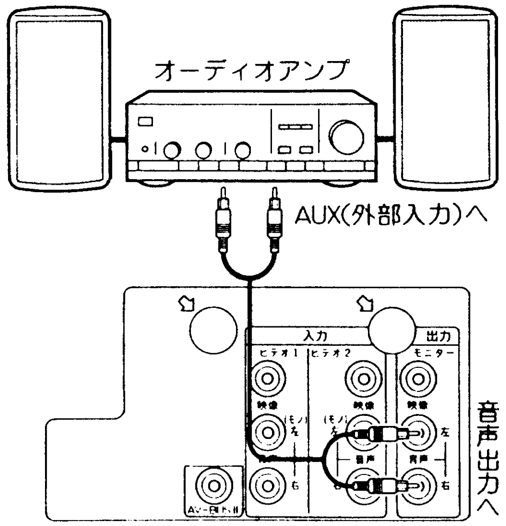
1 入力切換ボタンで「ビデオ：2」にする

2 ビデオディスクプレーヤーを操作する

接続はビデオ1，2入力のいずれでも接続できます。
（ビデオ1に接続したときは、入力切換ボタンで「ビデオ：1」を選んでください。）

オーディオ機器との接続

ステレオ装置などを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。



使いかた

1 接続したステレオ装置などで音量を調節する

ステレオ装置で音を楽しむ場合は、テレビの音量を最小にしておいてください。

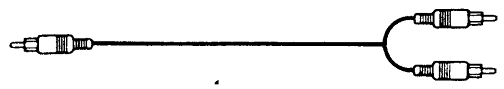
(ご注意) ステレオ装置ご使用時のご注意

ステレオ装置のスピーカーがテレビに近すぎると、画面の色がみだれることがあります。このような症状が出たときは、テレビから離して置いてください。

システムアップに必要な接続コード（別売り）

これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には、新たに購入の必要はありません。

● 音声信号入出力接続コードHPU-141AV（コード長1.5m）



主にモノラルビデオの音声入出力端子との接続に使用します。

● 音声信号入出力接続コードHPU-121AV（コード長1.5m）

主にHi-Fiビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

● 映像信号入出力接続コードHPU-131AV（コード長2m）

主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

● 映像・音声信号入出力接続コードHPU-200AV（コード長2m）

主にHi-Fiビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

(ご注意) 接続時のご注意

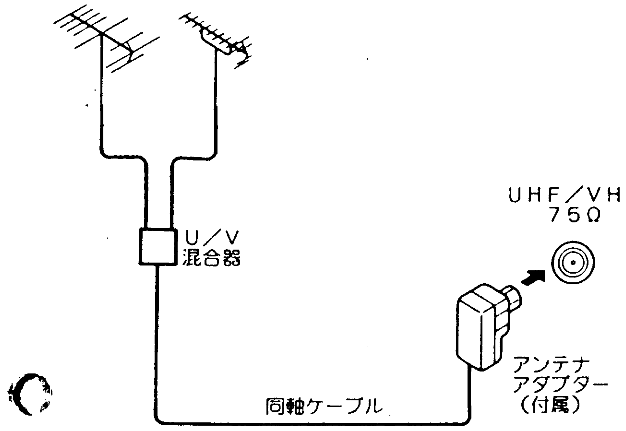
●他の機器と組合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
●接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。
●他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。

アンテナの接続

UHF／VHFアンテナの接続

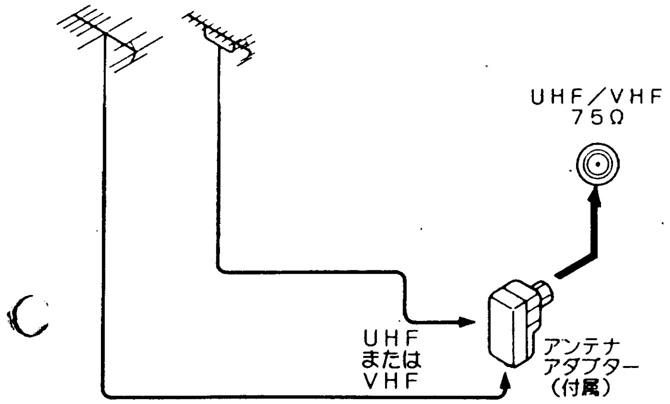
⚠注意 アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

UHF／VHFアンテナが混合のとき



1 アンテナアダプターをUHF／VHF混合アンテナ端子に接続する

UHF／VHFどちらか一方のとき

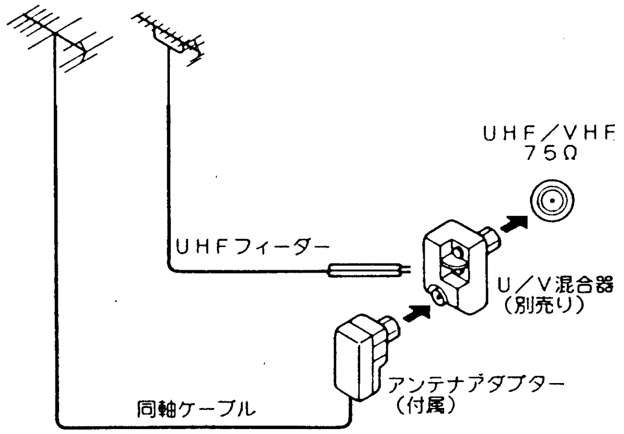


1 アンテナアダプターをUHF／VHF混合アンテナ端子に接続する

メモ アンテナアダプターについて

同軸ケーブルやUHFフィーダーにアンテナアダプターなどが接続されていないときは、16 を見て接続してください。

UHF／VHFアンテナが独立のとき



1 アンテナアダプターまたは，U／V混合器（別売り）をUHF／VHF混合アンテナ端子に接続する

(ご注意) アンテナ接続時のご注意

● アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が現れたりします。）
● 室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、お避けください。
● アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

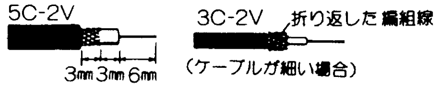
便利な使いかた

設置

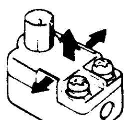
アンテナの接続（つづき）

アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続

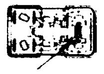
1 先端を加工する



2 ふたをあける

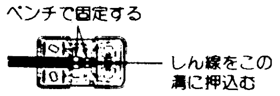


3 ビニール線を切断する

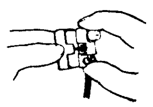


※ツメに接続されている
ビニール線（2本共）を
切断する

4 同軸ケーブルを取付ける

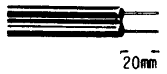


5 ふたをしめる

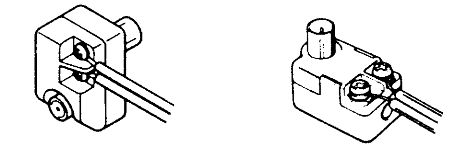


UHFフィーダーの接続

1 先端を加工する



2 U／V混合器(別売り)、または アンテナアダプターに接続する

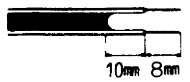


UHF／VHFアンテナが独立のときは、U／V混合器（別売り）に接続してください。

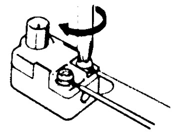
●UHFフィーダーはUHF専用のものをご使用ください。
（VHF平行フィーダーなどで代用されますと、画質が悪くなります。）

アンテナアダプターとVHF平行フィーダーの接続

1 先端を加工する



2 ネジをゆるめ、平行フィーダーを接続する

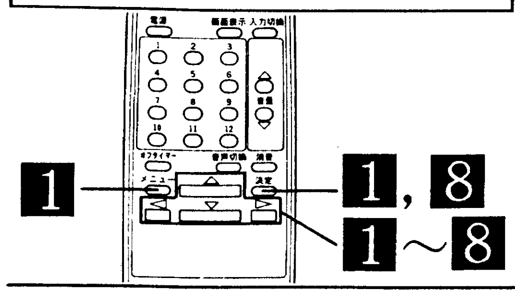


受信設定について

例）リモコンの「5」の位置にUHFの42チャンネルを設定する方法

チャンネルの配列を変えたり、空きチャンネルにUHFのチャンネルを設定することができます。

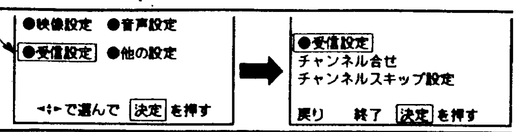
チャンネルの合わせかた



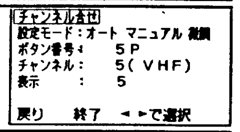
工場出荷時には、チャンネルボタンの番号と同じ位置に、VHFの1～12チャンネルが設定されています。
UHF放送を受信したり、チャンネルを入替えるときには、チャンネル合わせが必要です。
放送局の数が12を越える場合は、13P～20Pへ設定することにより、最大20局の設定が可能です。
13P～20Pに設定したチャンネルの選び方は、4 を参照してください。

色は、緑色

1 メニューボタンを押し、◄♦►で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

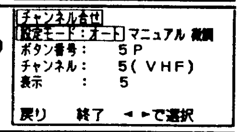


2 ♦で「チャンネル合せ」を選び、決定ボタンを押す

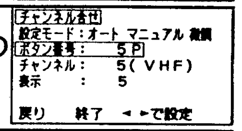


3 ♦で「設定モード」を選び、◄ ►で「オート」を選択する

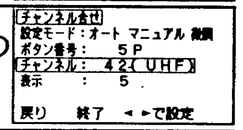
通常は「オート」をお使いください。



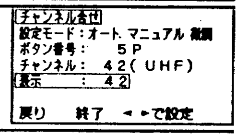
4 ♦で「ボタン番号」を選び、◄ ►で「5P」を設定する



5 ♦で「チャンネル」を選び、◄ ►で「42」を設定する



6 ♦で「表示」を選び、◄ ►で「42」を設定する



7 設定したチャンネルで、微調したい場合は

♦で「設定モード」を選び、◄ ►で「微調」に設定する
♦で「チャンネル」を選び、◄ ►で同調をずらし微調する

複数のチャンネルを変更する場合

4～6の操作をくり返します。

8 ◄♦►で「終了」を選び、決定ボタンを押す

メモ CATV（ケーブルテレビ）について

CATVはUHF62チャンネルとVHF1チャンネルとの間で設定できます。

→ VHF 1～12 ↔ UHF13～62 ↔ CATV13～35 ←

●CATVの受信は、サービスの行われている地域でのみ可能で、CATV会社との契約手続きが必要となります。詳しくはCATV会社にお問い合わせください。

メモ 選択時の「マニュアル」「微調」の選択について

4の操作のときに◄►を押すと、選局モードがつぎのように変わります。通常は「オート」でお使いください。

オート ↔ マニュアル ↔ 微調

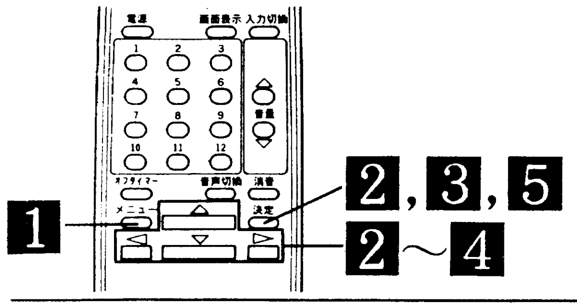
オート	マニュアル	微調
自動で放送チャンネルを探して止まります。	オートで希望のチャンネルが受信できないときに使います。	電波状態により同調を少しずらした方がよくなる場合に使います。

受信設定について（つづき）

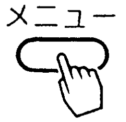
空きチャンネルの飛越し選局

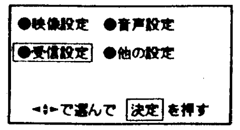
本体のチャンネルボタン、リモコンのCH／セレクトボタンで選局するとき、空きチャンネルを自動的に飛越（スキップ）して早く選局できます。

例）リモコンの「12」のチャンネルボタンを飛越したいとき

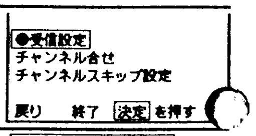


1 メニューボタンを押す

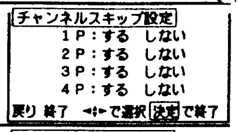




2 ◄⬍►で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

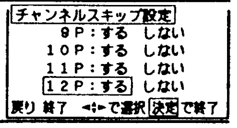


3 ⬍で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す



4 ⬍で「12P」を選び、◄ ►で「する」を選択する

3～4 の操作を繰返すことにより、1～20ポジションまで設定が可能です。



複数のチャンネルを飛越しする場合

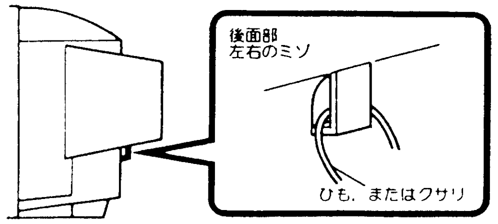
4の操作を繰返します。

5 決定ボタンを押し、◄ ►で「終了」を選び、決定ボタンを押す

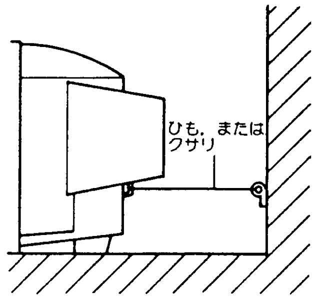
転倒防止について

⚠注意 ブラウン管（前面）は重いので、安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

1 テレビを固定してご使用いただく場合には、図のようにセット後部のミゾをご利用ください。



2 ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱等をお選びになり、しっかりと固定してください。



3 専用のテレビ台(別売り)との固定は、テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この商品は保証書付きです。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
（ただし、ブラウン管のみは２年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 修理を依頼される前に、「故障かな？と思ったら」の項に基づいてお調べいただき、それでも具合の悪いときはご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

転居後のアフターサービスについて

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の保有期間について

テレビの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後８年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

メモ CATV（ケーブルテレビ）について

CATVは、サービスの行われている地域でのみ受信できます。受信するには、CATV会社との加入手続きが必要です。また、スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、アダプターの使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

電源差し込みプラグがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりしているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
画面が出ない音も出ない	外部機器接続端子位置と入力切換ボタンの切換え位置の不一致	入力切換位置を合わせてください。	12
画面は出るが音が出ない	① 音量調節が0になっている。 ② 消音ボタンを押している。	① 音量ボタン(△)を押してみてください。 ② もう一度消音ボタンを押してみてください。	4 9
カラー番組のときに色がでない	色の濃さの調節が－（淡）側いっぱいになっている。	映像設定で色の濃さを選択し、＋にしてみてください。	8
画像が２重３重にうつる（ゴースト）	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。	アンテナの位置や高さを変えてみてください。指向性のよいアンテナをお使いになることも大切です。	
雪が降っているような画面になりハッキリしない（スノーノイズ）	アンテナの向きが正しくないことが考えられます。	アンテナの向きをお調べください。	
	アンテナ線がはずれている。	セット後面のアンテナ端子板の接続端子をお調べください。	15
	アンテナが古くなり、感度が低くなっていることが考えられます。	新しいアンテナと交換してください。	
リモコンでテレビが操作できない	①リモコン送信機の乾電池の⊕⊖が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。	① 乾電池を正しく入れてください。 ② 乾電池を新しいものに交換してください。	2
画像に色ムラが出る	明るさの調節が＋（明）側いっぱいになっている。	映像設定で明るさを選択し、－にしてみてください。	8
映像設定で明るさのみが調節できない	ディマーコントロールが「入」になっている。	ディマーコントロールを「切」にします。	8
「ピシッ」と音がする	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。		
テレビの向きを変えると色ムラが発生する	テレビの向きを変えてご覧になった場合は、地磁気の影響を受けるため色ムラが出る場合があります。（故障ではありません。）電源を「切」にしてから、約1時間後にご覧になる向きで電源を「入」にしますと、自動消磁回路が働いて色ムラが軽減されます。		

⚠注意 アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

ご参考